

【補足説明】

教養学部・総合文化研究科のみなさんへ

The Center for the Study of the Presidency and Congress (CSPC) 米国での研修プログラム（米国政治関係）2012-2013 Presidential Fellows Program の募集について

標記について、申請を希望する学生は、募集要項等一式を熟読の上、以下の手順で応募書類を提出して下さい。

【提出先・問合せ先】

教養学部 駒場 IO サポートセンター（アドミニストレーション棟 1 階）

電 話： 03-5454-4586／03-5454-6312

メール：ryugakusei-g@adm.c.u-tokyo.ac.jp

【※切及び留意点】

☆2月20日（月）16：30までに駒場 IO サポートセンターに応募書類一式を提出して下さい。

尚、紙媒体とともに、応募書類のうち、①2012-2013 CSPC フェロープログラム学内申請書（Word ファイル・署名前のもの）、②2012-2013 CSPC フェロープログラム申込書（Word ファイルに写真データ貼付のもの、又は写真を張り付けた上で PDF ファイル化したもの）、③2012-2013 CSPC Application for International Students（Word ファイル）、④英文履歴書(CV)（書式自由）、⑤2012-2013 CSPC フェロープログラム成績評価係数計算表（Excel ファイル）については、応募締切日までに駒場 IO サポートセンターにメール添付でも送付すること。

送付先：駒場 IO サポートセンター

件名：2012-2013 CSPC フェロープログラム申請（教養学部〇年／総合文化修士〇年
／総合文化博士〇年／氏名）

データファイル名：「(所属・氏名) 2012-2013 CSPC フェロープログラム学内申請書」

「(所属・氏名) 2012-2013 CSPC フェロープログラム申込書」

「(所属・氏名) 2012-2013 CSPC Application for International Students」

「(所属・氏名) 英文履歴書(CV)」

「(所属・氏名) 2012-2013 CSPC フェロープログラム成績評価係数計算表」

【応募書類について】

① 2012-2013 CSPC フェロープログラム学内申請書（所定様式・和文）

申請書欄 14、15 が記入済であることを確認した上で駒場 IO サポートセンターへ提出して下さい。

申請書欄 15 については、下記の窓口で説明を受けた後、署名を貰って下さい。

(学部 1 年生) 教養学部前期課程係 ③番窓口

(学部 2 年生) 24 年度に進学予定の学部担当窓口

(学部 3 年生) 教養学部後期課程係 ④番窓口

(学部 4 年生) 24 年度に進学予定の研究科担当窓口

(大学院生) 総合文化研究科大学院係 ⑤番窓口

② 2012-2013 CSPC フェロープログラム申込書 (所定様式・和文)

裏面「各大学所見欄」は指導教員に記載してもらうこと。

(①、②の記入内容に重複があるが、①は学内用、②は提出用のため、両方省略せず記入すること。)

③ 2012-2013 CSPC Application for International Students (所定様式・英文)

パスポートサイズの写真を別途提出するよう記載があるが、これは②2012-2013 CSPC フェローシッププログラム申込書貼付の写真を代用するため、写真のみのデータ提出は不要。

④ 英文履歴書(CV) (書式自由)

⑤ 2012-2013 CSPC フェロープログラム成績評価係数計算表 (所定様式)

(①～③、⑤の様式は本学「海外留学の案内」ホームページからダウンロードすること。

http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/res/stuex/university/un_cspc_fellowsprogram_2012-13.html)

⑥ 大学入学後全学期の成績証明書 (英文又は和文) の写し

⑦ 英語能力を証明する書類

原則、TOEFL PBT/iBT/CBT、あるいは IELTS の成績証明書の写し。その他 TOEIC、実用英語技能検定の成績証明書の写しでも可とする。(受験後にウェブ上で確認できるスコアの写しでも可)

・その他の英語能力試験等の成績証明書を提出する場合は、その成績証明書の写しと併せて、その英語能力試験等に関する説明文書 (様式任意。ただし A4 サイズ) を提出すること。説明文書の内容には、試験概要や、上記の英語能力試験への成績換算表等を含めること。

・英語能力試験等を受験していない場合は、参加コースを受講するのに必要な英語能力を有していることを説明する理由書 (様式任意。ただし A4 サイズ) を提出すること。(例: 英語圏の高等学校を卒業、等)